

日本のメディア文化とそこに現れたトルコのイメージ

山中速人（関西学院大学教授）

● ご紹介いただいた山中速人です。

このたびは、イスタンブール大学民俗学センター所長であるシェイマ・ギュンギョル教授からお招きをいただき、こうしてみなさまにお話をさせていただく機会をもつことができました。先生をはじめ、講演の実現にお力添えをくださったみなさまに、この場を借りて深く感謝いたします。また、通訳をしてくださる井藤聖子さんにも、お礼を申し上げます。

さて、講演の内容は、タイトルのとおり、日本のメディア文化とそこに現れたトルコのイメージについてです。私の専門は、メディア文化を社会学的な視点から研究することです。その研究の1つとして、太平洋地域を中心に、そこに住む人びととその文化が、外部のメディアからどのようなイメージとして描かれてきたかを研究し、出版しました。

この講演では、その方法を日本のメディアにおけるトルコイメージの形成について応用してみようと思います。ただ、日本のメディアはきわめて多様で巨大です。ですから、全部を対象にすることは不可能です。ここでは、その一部である新聞とマンガに焦点をあててみたいと思います。

さて、講演の内容は、タイトルのとおり、日本のメディア文化とそこに現れたトルコのイメージについてです。私の専門は、メディア文化を社会学的な視点から研究することです。その研究の1つとして、太平洋地域を中心に、そこに住む人びととその文化が、外部のメディアからどのようなイメージとして描かれてきたかを研究し、出版しました。

この講演では、その方法を日本のメディアにおけるトルコイメージの形成について応用してみようと思います。ただ、日本のメディアはきわめて多様で巨大です。ですから、全部を対象にすることは不可能です。ここでは、その一部である新聞とマンガに焦点をあててみたいと思います。

2 日本の新聞の概略

● まず、日本の新聞について、その歴史と特徴を簡単におはなししておきましょう。

3 近代以前の日本の新聞

- 近代以前でも、日本には、瓦版とよばれる新聞のようなものが、17世紀ころから発行されていました。瓦版の普及した背景には、当時の日本社会の高い識字率がありました。また、浮世絵などにみられるような高い木版印刷技術がありました。

写図：瓦版の街頭売りの再現

写図：「禁門の変」(1864)京都で起こった内戦を報じた瓦版

4 さまざまな瓦版

- 瓦版は、時事問題や事件などの客観的な出来事を報じるだけでなく、妖怪や幽霊などの怪奇話など、さまざまな話題を取り上げました。この点で、瓦版は、今日のジャーナリズムとはずいぶん異なっていました。

写図：人の顔をした魚が現れたという怪奇話を報じた瓦版 (1805)

5 浮世絵と錦絵

- しかし、瓦版には、浮世絵の伝統の影響が強く認められました。多色刷りの木版印刷をした浮世絵を錦絵と呼びます。図版は、葛飾北斎の赤富士の錦絵です。もうひとつの図版は、鈴木春信が描いた人気遊女の錦絵です。当時の人気遊女は、今では、映画女優にあたるでしょう。これら風景から女性までさまざまなジャンルの錦絵が、現在の東京にあたる江戸や大阪を中心に大量に安価に出版され、一般市民にひろく親しまれました。

新聞は、市民に親しまれている錦絵のスタイルをひろく取り入れました。

写図：葛飾北斎 『凱風快晴 (赤富士)』 18世紀初頭

写図：鈴木春信 『夜の梅』 (遊女絵) 18世紀中期

6 錦絵の影響

- 19世紀後半の1868年に、日本では約260年も続いた徳川政権が倒され、新政府による近代化がはじまります。ジャーナリズムも欧米の新聞の影響を受け、近代的な新聞が誕生します。しかし、そこでも、錦絵の伝統は脈々と受け継がれました。

写図：錦絵新聞の一例：近代化によって誕生した警察官の活動を記事にしている『大阪錦絵新聞』（1886）

7 日本の近代新聞の略史

● 19世紀後半の近代初期の新聞は、政党や知識人が発行する新聞が大半でした。政治的な意見や言論が中心で、発行部数も少数でした。

写真は、当時最大の海外貿易港だった横浜で、発行された日本最初の新聞「横浜毎日新聞」です。

しかし、1898年に、朝鮮半島の統治を巡って、日本は、清帝国と戦争をします。また、1904年には、同様にロシア帝国と戦争をします。この二つの戦争の中で、新聞は戦況をいち早く読者に伝える速報競争を展開し、以後、新聞の役割は、報道に移っていきました。

この速報競争の結果、発行部数と資本力が大きい新聞が勝ち残り、全国をカバーするメディアに成長しました。

写図：19世紀に発行された日本最初の新聞「横浜毎日新聞」

8 現在の新聞 Günümüzdeki gazete

● 今日の新聞について、かんたんにお話ししましょう。おもな全国紙には、読売新聞(1000万部)、朝日新聞(800万部)、毎日新聞(370万部)、日本経済新聞(300万部)などがあります。毎日、数百万部も発行されている新聞が、数種類もあるという国は、世界でもめずらしいのです。たとえば、世界でもっとも新聞発行部数の大きな中国の「人民日報」People's Dailyですら、240万部です。日発行部数の多さでもと、日本の新聞は、世界の第6位までを独占しています。

写図：朝日新聞 ASAHI GAZETESİ

写図：東京スポーツ TOKYO SPOR

9 日本の新聞は、宅配システムが特徴

● このような巨大な発行部数を支えるのが、日本独自の宅配システムです。日本の全世帯の約75パーセントが新聞を定期購読しています。そして、その大半が、宅配システムによって毎日家庭まで配達されています。

写図：駅での新聞販売 İstasyon'daki gazete satışı

写図：新聞配達員 Gazete dağıtanlar

1 0 宅配システムを支える地域の新聞販売店

- 日本中の町々には、それぞれの新聞社と契約して新聞を宅配する新聞販売店があります。全国で 2 万軒あるそうです。そこでは、多くの非熟練労働者が働いており、自転車とモーターサイクルで毎朝早朝から各家庭に新聞を届けています。最近では、外国人労働者の就労もみられます。

写図：朝日新聞販売店

1 1 日本の新聞報道の特徴

- 以上のような、日本の新聞の現状を理解していただくと、日本の新聞報道の特徴も理解しやすいと思います。日本の新聞報道の特徴は、多くの新聞が同じような内容の報道をする傾向が高いということです。発行部数が多いので、国民全体に受け売られようとして、中立的な論調になりがちです。また、政府発表をそのまま報じる記事が、紙面全体の 6 割以上も占める反面、独自取材の記事が 15 パーセントしかなうので、どの新聞も似た内容になってきます。

そのため、すべての新聞が同じニュースや情報を一斉に報道する傾向が強く、世論が特定の方向に引っ張られてしまう傾向が大きいのです。

写図：記者会見

1 2 エルトゥールル号祈念、日本トルコ友好式典を報道する朝日新聞

- それでは、日本の新聞記事とは、どのようなスタイルなのでしょう。この写真は、全国紙で 2 番目の発行部数を誇る朝日新聞が、今年、日本の串本という町で開かれた日本トルコ友好式典を報道した記事です。日本の新聞は、縦書きです。この写真の下にある大きな文字が見出し（ヘッドライン）です。

1 3 『朝日新聞』の全記事中、見出しに現れたトルコ関連記事の変化

- さて、それでは、トルコが日本の新聞にどのように報道されているかみてみましょう。このグラフは、1985 年から 2010 年までの朝日新聞の中で、トルコがヘッドラインに登場した記事がどの程度あったか示しています。ほぼ毎年、90 件程度の記事がコンスタントに報道されています。

1 4 『朝日新聞』の1面に現れたトルコ関連記事の変化

●つぎのグラフは、新聞でもっとも重要度の高い第1面にトルコ現れた記事の件数を年別に示したものです。全体で82件の記事がありました。そして、4つの出来事があった時期に集中しています。その4つの出来事とは、イイ戦争・トルコ航空機テヘラン日本人救出、湾岸戦争・クルド難民問題、トルコ地震、サッカーワールドカップ日本＝トルコ戦です。

1 5 『朝日新聞』の全記事中、見出しに現れたトルコ関連記事とギリシャ関連記事の変化の比較

●トルコ報道だけをみていては理解しにくいので、隣国のギリシャと比較してみたいと思います。

このグラフは、1985年以降で、トルコとギリシャが見出しに現れた記事数を比較したものです。すべての年で、トルコはギリシャのほぼ2倍になっています。

1 6 『朝日新聞』の1面に現れたトルコ関連記事とギリシャ関連記事の変化の比較

●つぎに、新聞のもっとも注目度の高い第1面への登場回数について、トルコとギリシャを比較してみました。全数では、トルコが82件、ギリシャが76件とあまり変わりません。しかし、ギリシャは2004年のアテネオリンピックと2010年、今年の経済危機の記事が大半です。それに比べて、トルコは、多くの年でコンスタントに記事が登場しています。

1 7 新聞の投書欄 『朝日新聞』の読者の「声」

●つぎに、一般読者の投書をみてみましょう。これは朝日新聞の読者投稿ページです。このページのタイトルは、「声」といいます。毎日、十人程度の投書が掲載されます。これをみれば、およそ日本人の一般市民がトルコについてどのように見ているかがわかるでしょう。

1 8 『朝日新聞』の読者の「声」に現れたトルコ関連投書

●1985年以来、27件のトルコに関連する投書が掲載されました。なかで

も、1999年のトルコ大地震に関する投書が突出しています。

19 『朝日新聞』の読者の「声」に現れたトルコ関連投書

- これらの投書には、2つの傾向がみられました。1つは、トルコを旅行したときの体験に関するもので、もう1つは、今言ったようにトルコ地震に関する投書でした。

20 地震被災者への同情と支援の呼びかけ例：被災者への同情と支援の呼びかけ例：

「日本は率先しトルコ救援を」 英語塾経営 富岡延行（静岡県伊東市 49歳）

我が国は、昔から地震の被害を被ってきました。…被災者の救済がいかに大きな問題であるかを身をもって経験しています。今こそ、日本が親身になった救援をすべき時です。…政府はさらに多くの専門家を派遣し、助かった人たちの健康や、民生の安定に貢献すべきだと思います。また、我々国民も、日本赤十字などを通じて少しでも役に立てたらと思います。

- これは、トルコ地震に関する典型的な投書のひとつです。これ以外にも、多くの投書が、被災者への同情を示し、彼らへの支援を呼びかけています。

21 トルコ旅行・滞在の体験 例

無職 （大阪府大東市 75歳）

感激したのは、人々の人情に触れたことである。最終日のバザール観光で、お金も底をつき、交番横の地面に腰を下ろした。…見かねたのか、お巡りさんがいすを持って来てくれ、そのうえチャイま でごちそうしてくれた。

主婦 （東京都 59歳）

トルコの店のトマトもキュウリも大きさはさまざまで、不ぞろいの品がどっさり木箱に盛られているのは、日本では見られなくなった光景である。太陽の恵みをいっぱい受けた色のいい昔懐かしい野菜の姿だった。私たちはそんな野

菜が欲しいのに。

会社役員（岐阜市 72 歳）

親日のトルコ、関係を大切に…先月トルコを訪れて予想以上の親日国であることに驚かされた。

- つぎに示すのは、旅行でトルコを訪問した体験を書いた投書の例です。投書で語られた旅行体験に共通する特徴は、トルコの「人情の厚さ」「豊かな自然」「親日感情」です。そして、日本の行き過ぎた近代化についての自己批判も含まれていました。

2 2 日本の新聞にみる日本人のトルコ・イメージ

- さて、これまで新聞をみてきました。日本の新聞に現れたトルコに対するイメージをかんたんにまとめてみましょう。

まず、トルコへの関心は高く、4つのピークはあるものの、比較的安定していることです。そして、読者たちの声は、トルコの「人情の厚さ」「豊かな自然」「親日感情」を指摘し、トルコとトルコ人に対する好意的イメージが強く示されました。

トルコの人びとが、ほんとうに日本に親近感を感じているかどうかは分かりませんが、すくなくとも、日本では、「親日の国＝トルコ」というイメージがひろく普及しているのです。

2 3 日本マンガの略史 Japon çizgi romanının kısaca tarihi

- さて、つぎに、別のメディアを取り上げてみましょう。マンガです。日本のテレビアニメは、世界中でひろく視聴されているようです。そのアニメの前段階として、日本には、マンガというスタイルのメディアがありました。アニメ文化は、マンガ文化の土台の上に開花したといってよいでしょう。

2 4 絵巻物の伝統 EMAKIMONO' nun geleneği

- 日本のマンガは、12世紀ころ生まれた絵巻物と呼ばれる絵画形式の伝統と深く関係しています。絵巻物は、横長の紙をつないだロール状にした紙あるいは絹布に、風景や物語などを連続して、表現した絵画です。1つの絵の中で場

面が転換するなど、現代のマンガに共通する要素を含んでいます。

写図：蒙古襲来絵詞 Moğolistan saldırısının resmi

2 5 日本マンガの源流

- 滑稽な表現を含んだ絵巻物として、鳥獣戯画が有名です。この絵巻物は、当時の権力者を動物になぞらえて、風刺しました。

写図「鳥獣戯画」 当時の世相を風刺する動物や人物を戯画的に描いたもの。

2 6 絵巻にみられる現代マンガに共通する「吹き出し」表現

- これら絵巻には、現代マンガに共通する「吹き出し」表現をともなったものもありました。吹き出しとは、人物と台詞が1つの画面の中に共存する表現形式です。この14世紀に描かれた「ふくとみそうし」には、その先行形態が見られます。

写図：高橋陽一「キャプテン翼」(1981-89)

写図：作者不詳「福富草子」14c?

2 7 近世のマンガ、草双紙

- 近世の17世紀から19世紀中期では、民衆の娯楽メディアとして「吹き出し」多用する草双紙（くさぞうし）が普及しました。

写図：黄表紙、恋川春町「金々先生栄花夢」(1775)

2 8 情報媒体としてのマンガの伝統

- 一方、生活文化の向上にともなって、流行の風俗や人気役者、観光案内など、多様な情報を提供するイラストと文字とを組み合わせた木版出版が普及しました。これは、尾張という地方のまつりを紹介した観光案内です。

写図：「尾張名所図絵・東照宮祭礼七間町の山車」(19世紀前半)

2 9 現代日本のマンガ

- 今日のマンガは、きわめて多様です。幼児向けから大人向けまで、10億部を超えるマンガ雑誌が発行されています。テーマも、政治経済から食生活まで、社会生活のあらゆるテーマがマンガになっています。

写図：最大発行部数 500 万部の『少年ジャンプ』

写図：アジア各国に翻訳された『ドラえもん』

30 新しい知識を普及させるマンガ

- 日本マンガの伝統である知識伝達の役割は、今日のマンガにも受け継がれ、新しい知識や情報を分かりやすく大衆に伝えるメディアとして、広く普及しています。左は、心理学を教えるマンガ。右は、世界の食文化を解説するマンガで、テレビアニメーション番組にもなりました。

写図：ゆうきゆう作／ソウ画・「おとなの1ページ心理学」ヤングキングコミックス（2010）

31 マンガで描くトルコ

- さて、それでは、これらマンガの中で、トルコはどのように描かれているでしょうか。書店には、さまざまなトルコ紹介のマンガ本やイラストレーションによるガイドブックが並んでいます。ここにも、日本のマンガ文化の伝統をみることができます。すこしのぞいてみましょう。

32 写図：『トルコイラストカイド』『トプカプ宮殿』p14-15

- まれは、トプカプ宮殿を訪ねたイラストレーターによる案内記事です。文字と絵を組み合わせる伝統がみられます。

33 写図：『イラストブック・トルコ』p40-41

- これは、イスタンブールの街角の風景を紹介したものです。

34 写図：『無敵のトルコ』『トルコ女性イメージ』p87-88

- これは、別の本です。日本の若い男性のマンガ家がトルコで出会った印象深い女性のイメージをまとめています。ここにいる女性のみなさんは、どう思われますか？

35 写図：『無敵のトルコ』『トルコ男性のイメージ』p89-90.

- 一方、これは同じマンガ家がみたカッコイイトルコ男性のイメージです。

36 写図：『無敵のトルコ』『熱いトルコ人の性格』p112

- 同じマンガ家は、トルコの男性同士があいさつとして抱擁するのを見て、「ト

ルコ人は感情表現が濃厚だ」と感じ、こんな絵で表現しています。ここにいる男性のみなさんはどう思われますか？

3 7 マンガが描いたトルコのイメージ

●さて、トルコを描いたマンガの中で、もっとも有名なマンガは、高橋由佳利『トルコで私も考えた』です。トルコ男性と結婚した著者のトルコ体験をマンガにしています。異文化交流をテーマにしたマンガです。つぎに、このマンガの一部を紹介してみましょう。

3 8 写図：『トルコでわたしも 2』「家の大きさ」 p26

●これは、トルコで暮らし始めたとき、日本から運んだ家具がとても小さく感じた衝撃の経験を描いています。日本家屋の狭さを痛感し、トルコの家ゆったりとした生活を伝えています。

3 9 写図：『トルコで私も 2』「夫も日本で・狭い家」 p59

●これは、日本でトルコ人の夫と暮らし始めたときのエピソードを描いています。夫は、「家がこんなに小さいから、家具なんていない。」といってスプーンケースで食事をします。著者は、「日本では、53平米もあるアパートは贅沢なのよ」となげいています。

4 0 写図：『トルコで私も 2』「親類」 p79

●これは、結婚直後、夫の親類がたくさん新居になってきて、頼みもしないのにどんどん家事をやってくれることに呆然としている著者を描いています。トルコの血族関係の強さを示しています。

4 1 『トルコで私も 3』「トルコのあいさつ」 p174-5

●これは、トルコ人のあいさつについて、知識を提供しています。

4 2 『トルコで私も 3』「お土産」 p180-1

●これも挨拶についてのマンガです。旅立つ人の「お土産はなにがいいですか」というあいさつに、多くのトルコ人は、「元気で帰ってくるのが土産です」と応えるのだけれど、やはり大きなお土産を持ち帰るのが、本当は望ましいのだと

著者は描いています。

日本では、これを建前と本音の違いと言います。同じような文化がトルコにあることを著者は見つけたわけです。

4 3 『トルコで私も 2』「掃除」 p98.

- これは、トルコ人が掃除を熱心にすることを描いています。とりわけ窓ふきに熱心であると描かれています。(ここでクリック) しかし、他方、著者は、「家の窓から道路にゴミを投げ棄てるのはなぜだ」と疑問を投げています。

4 4 『トルコでわたしも 21C』「変わるイスタンブール交通と物価」 p162-3

- 他方、発展するイスタンブールも、描かれています。これは、交通システムが急速に整備されたことを描いています。著者は、メトロがショッピングセンターに直結されていなかったところに暮らしていたころの苦労を思い出して、涙ぐんでいます。

4 5 『トルコでわたしも 21C』「変わるイスタンブール交通と物価」 p162-3

- これは、イスタンブールが経済発展して、物価が高くなったことに驚いています。著者は、「15年前ではチャイが20円だったのに、今では、コーヒーが500円もする」と怒っています。ちなみに、日本では、デフレーションのために、この15年間に、物価は逆にさがりました。

4 6 『トルコで私も 21C』「日本の温泉」 p64-7

- このマンガでは、トルコ人の夫が日本で経験したカルチャーショックも描かれています。これは、日本の温泉では、裸体で入浴するという習慣があることに夫が驚いているところです。男女別々ですが、しかし、大きな公衆風呂に他人といっしょに全裸で入浴するのです。

これには、会場のみなさんもおどろかれるでしょうね。

日本には、裸体について、固有のモラルや規範があるので、お風呂に裸体で入浴するからといってけっして日本文化が無秩序で不道徳なのではありません。しかし、それを理論で分かっている、実際に直面すると、相当ショックだと思います。日本の裸体についての文化については、また別の機会があればお話ししましょう。

4 7 マンガの中のトルコイメージ

- さて、最後に、日本のマンガに描かれたトルコイメージをまとめておきたいと思います。

多くのマンガに共通して、トルコ文化を理解することへの熱意がみられます。そこには、トルコ人びとの熱い人間関係への好意的な視線があります。しかし、同様に、とまどいもあります。

そして、そこには、日本とトルコの文化を「東洋」というひとまとめの観念によって一体化させるのではなく、トルコと日本の文化の差異を自覚し、冷静に認めようとする姿勢がうかがえます。しかし、その差異は相互理解と交流によって、乗り越えられるものと捉えられています。

4 8 補論：エルトゥールル号遭難(16/9/1890)と串本「トルコ記念館」

- さて、最後に、今年は、トルコにおける日本年ということで、日本でもトルコに対する注目が高まっています。そのきっかけとなったエルトゥールル号遭難事故については、みなさんもお存じのことと思います。わたしは、イスタンブールにくる直前に、遭難現場である串本町が建てた慰霊碑と、そのそばに建設されたトルコ記念館を訪問しました。最後に、補講として、その様子を紹介いたします。

4 9 串本の位置

- 1890年にオスマン朝の訪日使節を乗せたエルトゥールル号が遭難した串本は、日本の本州アイランドの最南端にあります。

5 0 エルトゥールル号殉難将士慰霊碑

- 現地に建設された慰霊碑です。町では、5年ごとに、大きな慰霊祭が行われています。

5 1 遭難現場

- 遭難現場は、この写真に見える岩礁でした。

5 2 トルコ記念館

●これは、遭難事故と乗組員救助を祈念するために、1974年に開設された記念館です。

5.5 記念館トルコ語音声ガイド

●記念館には、ミュージアムホール（展示室）があって、そこでは、トルコ語の音声ガイドもあります。その音声ガイドを紹介いたします。聴いてください。

5.6 記念館ガイド 島本栄一さんインタビュー

●記念館のガイドである島本栄一さんも、エルトゥールル号の救助にあたった島民の子孫です。かれは、エルトゥールル号乗組員の救助活動に多くの島民が参加したことについての伝承をつぎのように語りました。

「1921年生まれの母親から、母親の母、つまり祖母からきいたという話を受け継ぎました。それによれば、生存者の69名は、大島の蓮生寺で手当を受けたと聞いています。そして、母親からの話では、土地の各有力者の家にも泊まったと聞いています」

●記念館を運営する串本町の関係者は、これからもトルコとの交流を大切にづけていきたいと語っていました。

エルトゥールル号の遭難事故という不幸な出来事がきっかけでしたが、日本とトルコの市民同士の交流は、今日の大切に続けられています。

ただ、日本では、近年、インターネットのウェブページなどにみられるトルコに対する言説の中には、トルコと日本を、同じ東洋（オリエンタル）の国であるとして、文化や歴史の差異を無視し、過度に共通性を強調する傾向がみられるようです。

日本は、東アジアの近隣諸国、とりわけ中国や韓国とは、近代日本が行った深刻な侵略行為のために、今でもなかなかよい関係を築けていません。その苛立ちを打ち消すために、トルコが親日的あることが強調されているのかもしれませんが。

しかし、大切なことは、互いに差異を理解しながら、相互理解と信頼を築いていくことだと思います。その意味で、マンガは新聞にまけないほど、内容的にも高い水準をもっているといえますし、強力な影響力を持っているかも知れません。日本とトルコの相互のメディア文化が、より一層の相互理解に貢献す

ることを願ってやみません。以上で、私の講演をおわります。ご静聴ありがとうございました。